



議会だより

●発行：鹿児島県知名町議会
 ●編集：議会広報委員会
 ●発行日：令和3年1月25日
 ●〒891-9295
 鹿児島県大島郡知名町知名307
 TEL 0997-93-3119



チームの想いをタスキに込めて元気よく新春を駆ける1区の小学生選手
 (第46回町内一周駅伝競争大会 1月2日)

6月に本町で開催される大島郡消防操法大会に出場

ポンプ車の部「田皆分団」



小型ポンプの部「余多分団」



主な内容

- ◆ 年頭の挨拶 2
- ◆ 一般質問 3～12
- ◆ あらまし／第4回臨時会・第4回定例会で審議された案件 13
- ◆ 議会の動き／議会勉強会／編集後記 14



ちなポー
 知名町マスコットキャラクター

年頭の挨拶

知名町議会議長

福井 源乃介



新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

私は、昨年の議会議員改選により第39代知名町議会議長に選任されました福井源乃介です。議会構成も平均年齢が若くなり、若い皆さんの新しい視点・感覚・発想によるまちづくり、ベテラン議員と連携した新たなまちづくりに一丸となって取り組んでいきます。私たちは議員になるのが目的ではありません。その先にあるものは町政発展であります。12人の議員が同じ方向を向いて、同じ目的に向かって議会活動に励んでいきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年は新型コロナウイルスの感染拡大が世界中に広がり、様々な分野に大きな影響を与え大変な一年でありました。国を挙げて感染防止と経済活性化対策が重点的に行われ、新年を迎えることが出来ました。まだまだ予断を許さない状況にありますが、新型コロナウイルスのワクチン開発が進み、年内に承認され接種が各国で行われて一日でも早い終息を願うばかりであります。

昨年の9月議会において、今井力夫町長が「知名町気候非常事態」を宣言し、同時に「ゼロカーボンシティ構想」を発表しました。一方、国では菅義偉内閣総理大臣が「2050年カーボンニュートラル」を所信表明・施政方針演説の中で国策として表明されました。脱炭素化へ2兆円の基金を創設し、本気で取り組むことになりました。気候変動や地球温暖化の原因である温室効果ガスをゼロにする取り組みが世界の政治の潮流になっていきます。イギリスでは2030年にガソリン車、ディーゼル車の新車販売が禁止になり、日本も2030年半ばにはガソリン車の新車販売を禁止に向けた動きが出てきました。燃料電池自動車や水素自動車等に変わっていき、世界規模での取り組みが行われます。これまでの経済優先の資本主義社会から環境重視の社会への転換は決して容易なことではありません。大きく変えることは文字通り大変です。しかし、一人一人が環境重視の取り組みを習慣化していけば大きく変えることが出来ます。家庭や事業所から出る生ごみの資源化・減量化することで脱炭素化社会の実現につながり、クリーンセンターの長寿命化に貢献することができます。私たちが生きた時代は最高に恵まれた時代でした。子や孫や次の世代に、将来にわたって住み続けられる地球にしていかなければなりません。

脱炭素化を実現するには、グリーン化や再生可能エネルギー、化石燃料からの脱却、技術革新等が主政策になっていきます。私たちの暮らしや産業、社会構造そのものが変わっていきます。町長が進める「ゼロカーボンシティ構想」に、まず島でできることから、家庭でできることから協力していきましょう。

また、Z(ゼット)世代の活躍(行動する若者)。マララ・ユスフザイさんやグレタ・トゥーンベリさん、香港の周庭さん等々。タイやほかの地域でも変革を求める若者たちが立ち上がり活動しています。日本の若者達にも期待したいと思います。

町の方では、役場庁舎建設や水道水の硬度低減化、老朽化した公共施設整備やインフラ整備、高齢者福祉・医療・介護の充実、子育て支援策の充実、教育の振興や産業の振興、太陽光や風力発電など再生可能エネルギーの推進・エネルギーの自足への取り組みなど、町民福祉の向上や行政サービスの充実にも取り組んでいかなければなりません。

新しい年が町民の皆様にとりまして、健康で幸多き明るい年になりますようご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。 令和3年元旦

奥山雅貴議員



知名芦清良間のハチマキ線改良計画は

町長／令和5年度新規採択を目標に推進する

問 知名町の小中高に通う生徒に不登校児童生徒は何人いるか。



知名、芦清良間のハチマキ線

問 知名、芦清良間のハチマキ線が凸凹で道路を使用している町民から不満の声があがっているが、町としての対応は。また、工事予定はあるのか。

答 町長 Ⅱ 知名から芦清良手前までの約1・5kmの区間で大きなうねりと凹凸が確認されています。このことを受け、知名から上城までの東部ハチマキ線の改良工事を計画しています。令和5年度新規採択を目標に、来年度から予算計上も行う予定です。

問 令和2年度30日以上長期欠席の児童生徒は、10名です。小学生が6名、中学生が3名、高校生が1名です。病気やケガによる長期入院、経済的理由、家庭の事情などによるものを除き、長期欠席の理由が不登校である児童生徒は7名です。小学生が3名、中学生が3名、高校生が1名です。各学校においては、不登校の児童生徒が一日でも多く登校できるように様々な手段を講じています。毎日の電話連絡による確認はもちろんのこと、定期的な家庭訪問や教育相談、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携、児童発達支援事業所「ぽてと」「サランセ



児童発達支援事業所「サランセンター」



「サランセンター」フロアー

問 学校長の許可があれば、第3の居場所も出席日数とみなすと文科省からの通達がありますが、教育長からの指導は。

答 教育長 Ⅱ 学校長の許可は出ています。

問 点字教室など計画はあるのか。

答 教育長 Ⅱ 中途失明者緊急生活訓練事業と併せて、町の各種広報媒体を通し、本町における視覚障がい者の住みよい環境のための情報普及に努めてまいります。

問 知名町役場において、障がい者1級の方は通常1名のところを2名雇用されていると

聞が、どうなのか。

答 町長 Ⅱ 本町では、法定雇用率を達成するために必要な職員数が4名となっており、現在、対象職員3名のうち1名が重度身体障がい者の認定を受けているため制度上は、4名雇用していることとなり、法定雇用率を達成している状況にあります。

問 納税について、1日でも遅れたら延滞金が発生していますが、2期、3期、4期と早めにまとめて支払った場合の何らかのサービスはないのか。

答 町長 Ⅱ 以前は、前納報奨金制度がありましたが、現在は行っておりません。

問 悪質滞納者や、何らかの都合による延滞者への取り組みは。

答 町長 Ⅱ 催告書の送付や電話催告を行い、資力があるのに納付に応じない方や、納税意識の低い方には、納期内納税者との公平、公正な業務遂行のため、滞納処分、すなわち差し押さえを行っています。

答 税務課長 Ⅱ 窓口での相談も受け付けておりますので、税務課までお越しいただきたいです。

西
文男議員



奨学金制度の活用人数は

教育長／大学生11人、専門学生5人、
特別奨学生は3人

問 本町の奨学金、特別奨学金制度を活用している生徒は何人いるか。

答 教育長 奨学金を活用している生徒は、大学生11人、専門学校生5人の合計16人です。うち、将来、知名町において医療福祉関係の有資格者として勤務を目指す特別奨学生は、大学生2人、専門学生1人の計3人です。

問 特別奨学金の貸与金額は医師、月額6万円、医療福祉関係月額5万円で、4万円を超える部分の金額についてとなっているが、2万円を超える部分について、基準を下げる事はできないか。他の町で医学部等の、条件を満たせば全額免除となっている町もある。

答 学校教育課長 本町は昭和57年から貸与型奨学金制度を始め、全て寄付金で貸与型に賛同して活用し卒業後は返還して又次の世代へと繋いで行く制度で、給付型の制度については、財源等鑑み今後の課題となると思います。

問 児童生徒の文化、スポーツで、郡大会、県大会、全国大会への出場に対する町の助成はどうなっているか。

答 教育長 知名町スポーツ少年団から参加するチームに児童は旅費の半額補助、監督・指導者等は全額補助を行っています。来年度から、鹿児島県スポーツ少年団競技別交換大会に参加する際に旅費助成を大島地区交換大会で優勝した場合町から旅費の全額、2位、3位の場合旅費の半額補助を行うよう、知名町スポーツ少年団旅費規定の改訂をしました。

問 町内では、知名ジュニアベイスボールクラブ、TSC奄美に参加し、頑張っている児童生徒が多くいます。郡、県大会に出場時に町の助成は出ないか。

答 教育長 知名ジュニアベイスボールクラブは参加時に



知名ジュニアベイスボールクラブ

は、他チーム同様に町の助成が出来ます。TSC奄美は、クラブチームとして活動しており、町の旅費規程に該当しないため助成は行っておりません。

問 正名海岸線の道路状況は、現在、海岸に向かって左側に非常に大きく高低差もある沈砂池があり、未舗装のため路肩が浸食され非常に危険である。大至急整備ができないか。

答 町長 指摘の箇所を確認したところ、沈砂池側のフェンス・ガードレール等が傾き、路肩が浸食し車輛等の通行に対し危険な状態と把握しています。早急に安全対策をして、路肩の補強、表面水の対策、路面の改修等工法を検討し、安心して通行出来るよう努めていきたいと思っています。

問 主要幹線道路の県道知名国頭線、屋子母字道路で一部側溝が傾いている箇所があり非常に危険である。早急に改修工事は出来ないか。

答 町長 令和元年9月議会にて、当路線県道知名国頭線屋子母字付近の側溝改修について質問がされました。その後、県沖永良部事務所建設

課へ再三要望してきました。現在予算等の確保が出来ましたので、近日中に改修工事を発注すると聞いております。

問 知名町の昇竜洞は東洋一と言われています。近年観光客も多く、また地域の福祉施設等の入居者も島内観光地を視察時にトイレを利用するが、男性トイレが和式になっているので、洋式トイレに改修が出来ないか。

答 町長 現場を確認しましたところ、和式トイレは昇竜洞の出口にある、男女トイレ一つずつあります。昇竜洞は鹿児島県指定の文化財天然記念物として指定されており、旅行ツアー客等年間利用者数も約1万人と知名町の重要な観光名所となっています。体の不自由な方も含め多くの皆様に気持ちよくご利用いただくためにも洋式トイレへ改修を進めます。



昇竜洞出口休憩所

給食費無償化はできないか

教育長／財源確保が見込めないことから実現は難しい



福川 勝久 議員

問 町から頂いている出産祝い金、小・中・高での入学祝い



地場産品を使った給食メニュー

問 給食費を無償化にすることにより自治体、地域への感謝の気持ちへの涵養、栄養バランスの取れた食事の摂取や残食を減らす意識の向上、給食費が未納に対する心理的負担の解消などの成果が得られるのではないかと。また、自治体としても子育て支援の充実、少子化対策、定住・転入の促進を促せるのではないかと。

答 教育長 知名町において、保護者の負担分が1,900万、町の負担分が1,300万、合わせて3,200万、これらの財源を継続的に確保することは難しい。

問 シルバー人材委託が公平性に欠けているのではないかと。

答 町長 毎月1日に来月分の予約を東、西の地区ごとに分け、受け付けている。特に東方面に馬鈴薯の発注者が集中しており、抽選を行っている。天候不良等に当たった際はキャンセルとなる。希望が通らないというのは、右記のように雨天等で予約が流れた関係によるものと思われる。

問 子育て支援課長 現時点での子育て支援策としては、昨年度議決された支援をしているため、今のところ変更はありません。しかし、町民の意見をもとに、給食費のほうにより助けになる支援策などの声があれば、いずれは検討する必要があります。

答 子育て支援課長 現時点での子育て支援策としては、昨年度議決された支援をしているため、今のところ変更はありません。しかし、町民の意見をもとに、給食費のほうにより助けになる支援策などの声があれば、いずれは検討する必要があります。

金を含めた約20万円分の支援をするかわりに、この財源を給食費に充て、足りない分を他の財源から確保することでは可能ではないか。義務教育の中での子供一人当たりの給食費用は約32万円かかります。保護者にとっても、祝い金20万円相当よりも、約32万円の支出が抑えられることは、経済的に助けになるのではないかと。

問 生ゴミ処理機購入補助金について。

答 町長 生ゴミの減量化・資源化を図り、環境保全及び、施設の長寿命化を進める上でも家庭用生ゴミ処理機購入補助金事業は、有効な施策の一つと考える。両町から沖永良部衛生管理組合へ運び込まれる



知名町シルバー人材センター

問 事業実績が隣町との差が大きいため、これからの運営について、どう考えているのか。

答 町長 入会者募集の斡旋に、より力を入れた。農業業務の委託だけでなく、公共の業務においてもシルバー人材センターが受注できるように研修等を実施し、積極的発注ができるよう検討していく。

問 町長は、知名町気候非常事態宣言をし、合わせて脱炭素化社会の実現に取り組むことも宣言されました。町長が思い描いている将来ビジョン、取り組みをどう考えていますか。

答 町長 私が考えるゼロカーボンシティ構想について、私たちの生活の中で排出される大量の二酸化炭素を減らすために、節電以外にも、ゴミの再資源化にも着目すべきである。ゴミの減量化、資源化を高め、土地に肥料として散布することにより地力の回復、地力を高めていく。そうすることによって、海環境を良くし、海水に栄養を与え、海のプランクトンを増やすことで空気中の二酸化炭素を減らすことができるかと考えます。



生ゴミ処理コンポスト

るゴミのうち、燃えるゴミが8割を占めているので、財政及び隣町と十分に協議し実現可能か検討していく。

沖永良部空港ジェット化の実現は

町長／必要性を国県に要望していく



宗村 勝議員

問 沖永良部空港へジェット飛行機を発着出来るようにするには、滑走路長が2,000m必要とされていますが、現在の空港を延長か角度の変更をして、2,000mを確保する事ができないか。出来ないのであれば、他の場所に候補地を模索してジェット化の実現に望むべきではないか。

答 町長 国が定めている空港ジェット化の条件としまして、滑走路長2,000mで一路線11万人の利用が見込まれていることと条件となっております。現在の滑走路長が1,350mで、あと650m延長が必要となります。また、利用客数においても令和元年の全路線の利用客数で10万7,329人で11万人に達していない状況です。今後とも沖永良部島全体の発展を成し遂げていくためには、ジェット化も必要なものだと思いますので、県・国に実情をしつかり説明しながら和泊町とも協力して要望したいと思えます。

道路整備について

問 町道屋子母前当線は、民家が数軒あるにも関わらず未だに未舗装の状態である。早期に全面舗装を実施して、住民の通行

に支障の無いように望む。

答 町長 屋子母前当線は、民家が数軒あることから舗装の必要性は感じておりますので、予算や他路線との優先度等を検討し、進めていきたいと思えます。



未舗装道路（屋子母前当線）

問 町道黒貫余多線は、周辺の農道は舗装工事が完了しているにもかかわらず未舗装の状態です。通行量が多い路線であるため整備を望む。

答 町長 黒貫余多線は、道路周辺に民家もなく緊急車両等の通行もないことから優先度は低いと思われるですが、予算・他路線との優先度等を検討してまいります。

問 町内に人里から離れた地に住居があるため、未だに上水道が引き込まれていない住宅が存在します。対象者に補助をしていただき、安心・安全な水を供給して快適な生活を送っていただきたいと考えるがどうか。

答 町長 本町の上水道普及率は99・8%と県内でも高い水準となっております。町内の給水区域内での給水管引き込みについては、受益者負担となっており、一部対象者への助成については難しいと考えています。

問 沖永良部食品リサイクルセンターの液肥は、農作物の栽培に有効だと実証されております。過去、町内数箇所にし

尿の一時保管用に大型のタンクが設置してあります。それらを利用して、液肥を大量にストックして農家の需要に対応することができないか。

答 町長 し尿の保管場所として、町内6箇所に設置してありましたが、2箇所は三年前に使用するために整備を行いました。他の4箇所は汚水や尿の残りが入っており使用するためには再整備が必要です。また、液肥散布は委託事業所が請け負っており、保管するよりその都度、農地へ散布に行く方が効率的だと思われまます。将来、原料の在庫が増加した場合に、ご指摘のタンクが使えないか検討していきたいと思えます。



食品リサイクルセンター



し尿保管タンク

窪田
仁
議員



第三知名東部地区基盤整備の換地 清算は

町長／来月から通知書の発送と支払いを行う

第三知名東部地区基盤 整備の換地清算について

問 換地清算で町から地権者に支払う予算はどうなっているのか。

答 町長Ⅱ予算については、令和2年度計上しており、一般会計から知名町土地改良事業換地清算特別会計へ3千万円の繰出しを行い、この特別会計から地権者へお支払致します。

問 支払率が0%ですが、地権者に価格の通知書はいつ発送できるのか。

答 町長Ⅱ現在支払の準備を進めておりまして、来月中旬に通知書を発送する予定です。

問 地元説明会はいつできるのか。

答 町長Ⅱ地元説明会については、平成30年2月19日に芦清良字生活館、翌日に黒貫字生活館、同2月27日に屋者字生活館で開催し、また他地権者からの要望を受け、平成31年3月13日に再度、芦清良字生活館において開催していますので、今後、地元説明会を開催する予定はございません。

問 パイプハウス導入で町単独事業の5年間実績はどうか。

答 町長Ⅱ町単独のパイプハウス導入事業は、畑かん利用による園芸品目の振興を図ることを目的とし、営農用ハウスを整備する事業であります。5年間の実績と致しまして、平成28年度に花き1件、平成29年に果樹が1件、平成30年に野菜・果樹が各1件、令和元年に果樹2件、計6件、合計3,504㎡の事業実績があります。

問 国県の事業（国60%県16%）に町の補助上乗せはできないか。

答 町長Ⅱ奄美農業創出緊急支援事業については、国県での補助率が76・6%となっておりまして、他の事業と比較してもかなりの高率補助となっております。しかしながら高収益作物振興を早急に図る目的での、更なる上乗せについては財政状況等を勘案しつつ検討したいと思っております。

町文化財の格上げと 補修について

問 町指定文化財の屋者琉球式墳墓を県指定の文化財に格上げはできないか。

答 教育長Ⅱ県指定を行う申請というものはありません。県指定を目指す文化財所有者

は、市町村教育委員会を通じて県へ情報提供を行います。県は、市町村の情報提供を受けて、県保護審議会等で検討がなされますが、県への情報提供がすべて諮問されるとは限りません。これまで県職員・大学教授等に現地視察・指導を頂いていますが、現在のところ、候補選定になったとの連絡がありませんので、現状では位置づけが難しいのではと考えます。

問 貴重な亀の甲羅型・切り妻型の屋根・墳墓周りの修復はできないか。



屋者琉球式墳墓

答 教育長Ⅱ今後の保存・整備を行うために基礎的資料が必要なことから、平成24年度より30年度にかけて町指定文化財の屋者琉球式墳墓、アーニマガヤトウール墓、新城花窪トウール墓、屋子母セージマ古墳跡の町内4ヶ所において、石積みや墓の構造を把握するため、測量作業や掘削を設定して掘り下げ作業などの調査を行い、その結果・課題を含めた報告書を刊行しました。この結果・課題を解決するため、主に次の3点を重要事項として令和元年度に古墳調査検討委員会を開催いたしました。

1. 調査報告書でまとめた課題等の解決及び今後の追加調査の方法。
2. 沖永良部古墓群をどのような方法・取り組みで県指定遺跡へ目指すか。
3. 屋者琉球式墳墓など4つの古墓の継承保存・活用・整備。

今後についてですが、令和3年度に古墓調査検討委員会を開催予定しており、「どのような方法・かたちで石垣等の整備復元を行えるかについて、知名町教委、県文化財、文化庁、専門家と検討できるか。」などについて協議していく予定とされています。

フローラルホテルの運営について

町長／ オープン25周年の節目の年となるので利用者に愛される施設を目指し経営改善に努める



城村 誠議員

問 GOTOキャンペーンによる経営回復具合はどうか。

答 町長 10月、11月は前年度売上げをクリア出来ており、キャンペーンの追い風を受け回復基調にあるが、10月末で2,100万円の赤字となっている。



フローラルホテル

問 フローラルホテルの料理の改善について。

答 町長 島食文化の発信基地、地産地消の総本山として町民、観光客に喜んでもらえるよう料理改善に努める。



島内産桑ソーメン、ズッキーニを使った地産メニュー

問 新型コロナウイルス感染症に対する町の対策に変化はあるのか。

答 町長 水際対策として、港、空港での検温実施を継続する。軽症者隔離施設は、県



水際対策で感染拡大防止を

から指示があった際は迅速に対応する。

問 手話の活用による感染対策、手話通訳士の育成は。

答 町長 手話により感染リスクは格段に低下すると思われる。42名の聴覚障がい者も含め、町内手話通訳ニーズを踏まえて検討する。

問 反社会的勢力に対する町の対策は。

答 町長 平成24年に知名町暴力団排除条例、平成28年に沖永良部警察署と協定を締結しており、徹底した態度で臨んでおります。

問 町の契約書等の反社会的勢力の確認・判断は独自で行っているのか。

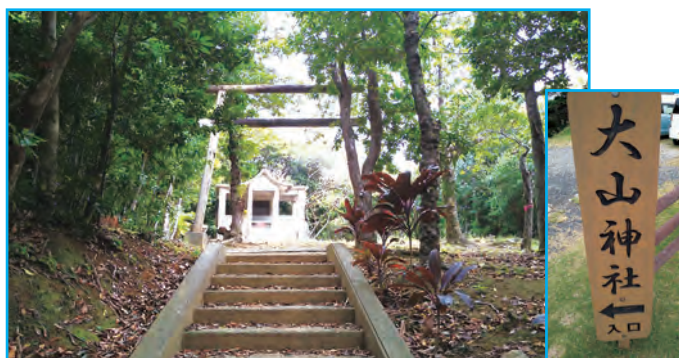
答 町長 沖永良部警察署と情報交換しつつ、反社会的団体・個人を判断しております。

問 オリンピック開催を前に、フローラル館大浴場の「入れ墨・タトゥーの入場お断り」看板掲示継続について。

答 町長 町民の入れ墨に対する感覚もあるが、人権、差別等の問題を国・県の方針を聞きつつ判断してまいります。

問 大山神社の鳥居設置について。

答 町長 毎年旧暦の5月16日に例祭を開催し、無病息災、五穀豊穡を祈願しています。その存在を知らしめる意味での必要性はあると思うが、憲法上行政の立場で申し上げる事項ではない。



大山神社

問 民間からの提供者がいるが、町有林の取得、購入はできるか。

答 町長 デリケートな問題であり、答弁は差し控えさせていただきます。

外山利章
議員



地域活性化に向け、「高校魅力化プロジェクト」の導入を

町長／事業化に向け、協議を行う

教育の魅力化について

問 「高校魅力化プロジェクト」は地域づくりの施策の一つとしてぜひ導入すべき。事業化に向け取り組んでいくという認識でよいのか。

答 町長 Ⅱ プロジェクトを進めることは地域の活性化に大いに関わってくる。課題を整理しながら関係部局等で協議し、進めていくべきと考えています。



教育による地域づくりに向け、高校魅力化を

問 高校の魅力化には沖永良部高校、地元自治体、そして地域の連携が必要と思われるが、今後どのように進めていくのか。

答 町長 Ⅱ 事前検討委員会において、高校・行政・地域等の役割を協議し、意見や情報等の分析を終えたあと正式な委員会を発

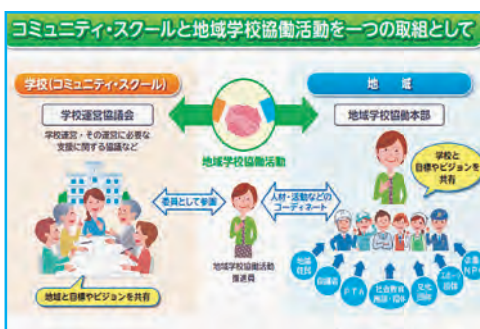
足したいと考えています。また和泊町、沖永良部高校と連携を密にし、相互理解のもと進める必要があると思っています。

問 地域全体で未来を担う子供たちを支える「地域学校協働活動」の推進と運用体制の整備が提言されている。本町における取組は。

答 教育長 Ⅱ 地域学校協働活動と関係の深いコミュニティスクールの実現に向け検討しているところです。

問 薩摩川内市でのコミュニティスクール視察の感想は。

答 教育長 Ⅱ 地域の意見が学校運営に反映できるコミュニティスクール制度に将来なっていくものと思われます。本町でもスタートしていきたい。



地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりを

畜産振興について

問 農家の意見・要望を聞く体制は整えられているか。

答 農林課長 Ⅱ 農家の生の声を聞くため「語る会」を年明けにも開催したいと考えています。

問 国・県の事業についてSNS等を通じ、積極的に情報発信をしてほしいと要望があるが。

答 農林課長 Ⅱ 様々な手段を使い国・県の事業に関する情報を農家の皆様に伝える体制を整えていきたいと思っています。

問 家畜導入事業(町有牛)の貸付が33万円となつていますが、子牛価格が上昇している現状で、この金額では良い素牛は購入できない。貸付価格の増額をし、増頭支援に繋げるべきではないか。

答 農林課長 Ⅱ 現状の基金貸付では厳しいことは認識しています。農林課として増額の方で、財政と協議をする予定としています。

問 分娩監視カメラや発情発見装置の導入助成の条件に飼養頭数による制限がある。増頭

意欲のある農家が対象となるよう条件見直しを考えてよいのでは。

答 農林課長 Ⅱ 希望者数、予算等確認しながら検討させていただきます。

問 9月議会において、5月競りにおける価格下落の対策を求めたがどうなったか。

答 農林課長 Ⅱ 本議会の補正予算で予算を計上してあります。



畜産振興に向け積極的な増頭支援を

問 農家から飼料の生産受託組織設立の要望がある。町としてどのように取り組んでいくか。

答 農林課長 Ⅱ 粗飼料関係の受託組織についても農家の意見を聞くと共に、組織化について行政としてバックアップしていきたい。

新型コロナウイルス対策学生臨時 支援金事業の支給状況は

教育長／ 支援金50,000円/1人、123名が申請済み



川畑光男 議員

問 知名新城線から宗岡組プラント、沖永良部農業開発組合現場事務所間の道路において、10 cmと15 cmぐらいの凹凸が数十箇所あり、車の走行に支障を来しています。長期に渡り改修工事がなされていないのが原因です。今後の改修計画はどうなっているのか。

答 町長 〓 この箇所は、町道大山林道線の一部で、該当区間470 mは、簡易舗装仕上げで幅員が4 m程で、当区間の利用者は、事業者と数名の耕作者であることから、交付金を付けた事業は難しいと思います。レミファルト等でのポットホルルの補修という形で対応予定です。



大山林道線の早期補修を

問 小米古里線において、交通量が多い中、芦清良く屋者間の中央線が消えているため危険である。早急な中央線の復旧はできないか。

答 町長 〓 指摘の小米古里線は、知名町と和泊町間の連絡

幹線道路と認識しており、車両の通行や近接する畑の利用等による交通量が多いため、中央線が消耗して、消えていることによる事故の発生を考慮すると緊急性は高いと思われる、このことから中央線の復旧は令和3年度に実施予定としています。



中央白線の復旧を

問 知名小学校西側正門、図書館側において、子供たちの横断が多いため横断歩道の設置はできないか。

答 町長 〓 知名小学校西門から図書館側には横断歩道が設置されていますが、登下校時には児童が横断している状況にあります。現在の状況から、利便性を考えるとご指摘の箇所への横断歩道の設置も望まれるところですが、道路の形状から勾配があり、下り坂を通行する際にスピードが出やすい状況にあり、安全の確保が難しい状況にあります。

問 フローラルホテルから小米に抜ける海岸線において、街灯が腐食して点かない状態になっている。改修の計画はあるのか。

答 町長 〓 フローラルホテルから小米に抜ける臨港道路に街灯を3基設置してありますが、8月末から9月始めに接近した台風により照明器具が3基とも破損したため、現在点灯しない状態となっております。今後の改修については、3基とも取り替えを予定しています。



腐食破損した街灯

での支援者全員に支援金は支給済みか。

答 教育長 〓 「新型コロナウイルス対策学生臨時支援金事業」については、島外で不安を抱きながら大学、大学院、専門学校、高等学校、予備校などに在籍している学生が安心して学業に励むことが出来るよう事業を開始しております。支援額は、学生一人につき5万円、支援対象人数は、2000人を想定し、12月1日現在、123名、申請額615万円、61・5%の申請率となっております。

問 令和3年度からの小中学校のデジタル化について。今後、小中学校の児童生徒への指導はいつ頃からどのような方法で取り組むのか。

答 教育長 〓 小中学校の教科書のデジタル化については、現在のところ、令和3年度より児童生徒の学習用教科書がデジタル化で運用していくことにはなっておりません。今年度より、順次、指導者の用デジタル教科書を整備しているところであり、児童生徒につきましては通常通り紙媒体の教科書を利用して授業を行うことを予定しております。

問 知名町は、「新型コロナウイルス対策学生臨時支援金事業」において、対象者に対し

根釜昭一郎議員



コロナ禍での学校・家庭・地域の連携はとれているのか

教育長／現状としては連携出来てないところがある

問 コロナ関連の助成事業の進捗状況は。

提言……次期助成事業の際には、感染症対策として、医療用ゴム手袋を助成の対象とすることを要請します。

答 町長 事業総額は、3億3,296万円となっております。11月末における金額ベースの執行率（支出済額）は、30%となっております。事業数は28事業ございますが、11月末時点で完了している事業は5事業、3月末で完了予定の事業は19事業、残り4事業は令和3年度に繰り越しての継続実施を予定しています。

- ※参考：繰り越し予定事業
- ・公共交通利用喚起沖永良部周遊体験事業
 - ・知名町行政デジタル化推進事業のうち文書管理システム環境構築
 - ・国民宿舎改修事業
 - ・フローラルパーク改修事業

問 クラスターが発生した場合の対応は、（医療機関）

答 町長 Ⅱクラスターが発生した場合は、県や厚生労働省のクラスター班の指導の下で対策がとられます。すべての医療機関で感染予防対策を徹底していますので、安心して受診していただきたい。

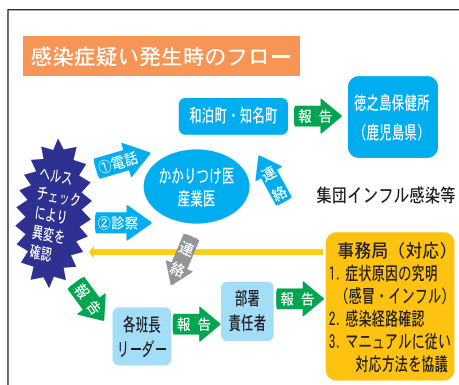
問 （農業関連）

答 町長 Ⅱ製糖工場や集出荷場等で発生した場合、その程度により短縮操業や操業停止等の措置を取らざるを得ない。



南栄糖業コロナ対策

※参考：JAあまみ、南栄糖業におきましては、感染症対策マニュアルを作成し、体調管理や交代勤務等、出来る限りの対策を講じている。



問 （学校関連）

答 教育長 Ⅱ学校においては、文科省が作成する「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づいて行動しております。感染、もしくは濃厚接触者として特定された児童生徒は、学校保健安全法第19条に基づき2週間の出席停止の措置がとられます。学校の臨時休業については、様々な状況について医療機関からの情報を基に正確に把握し、臨時校長会による校長の意見を聞いた上で、最終的には町教育委員会が判断します。学校単位、校区単位、町内一律の休業とするかは、ケースバイケースです。休業期間についてはですが、現在、全国的な例をみても数日間の臨時休業を実施してから再開するのが一般的であり、長期の臨時休業は考えにくい。

問 （役場関連）

提言……庁舎内の体制マニュアルの作成を！

答 町長 Ⅱ沖永良部新型コロナウイルス警戒レベル第4段階に該当し、公共施設等の原則利用停止、町主催行事の中止、延期の措置、民間事業者への営業自粛や休業等の協力依頼を行います。

問 コロナ禍で学校と家庭・地域の連携に支障をきたしていると感じるが。

答 教育長 Ⅱ多くの行事が中止、短縮されるなど、例年通りの教育活動を進めることが困難であり、そのことにより、地域の方々から「先生方の顔が見えない」などのご意見をいただくこともございます。学校と連携しながら、多くの行事をできる限り中止ではなく、感染対策を講じながら実施していく方向で進めていきたいと考えています。

問 コロナ禍で情報発信の有益性を感じるが。

提言……ふるさと納税PR動画の作成を！

答 町長 Ⅱ町の情報発信の手段としては、防災無線や広報誌、知名町ホームページ、知名町公式ライン、フェイスブック等があります。コロナ禍での国、県、町の支援策は多岐にわたり、その都度迅速な情報発信に努めている。

※参考：観光関連として令和2年度奄振補正（コロナ対応型）で、デジタルプロモーション事業を実施中。（8K動画撮影済み）

新庁舎建設の進捗状況は

町長／当初計画通りに進める



今井吉男 議員

問 新庁舎建設は当初計画のスケジュール通りに着工できるのか。

答 町長 新庁舎建設は、当初計画のスケジュールの令和3年6月に工事発注を予定している。

問 新庁舎建設計画で、総事業費12億円の財源内訳はどうなっているのか。

答 町長 総事業費12億円で試算した場合、10%の1.2億円は庁舎建設基金を充当、90%の10.8億円は事業債（市町村役場機能緊急保全事業）を活用する予定です。

問 新型コロナウイルス禍で町内経済が低迷するなか、町内業者育成の観点から工事発注にあたっては、新庁舎本体工事と電気や設備等の工事は切り離し、分離発注すべきではないか。

答 町長 分離発注が可能か、今後検討していく。尚、新庁舎建設に伴う備品（物品）等は、地元業者育成の観点から、分離発注を検討している。

問 沖永良部与論地区広域事務組合の予算総額（令和2年度は4億9,300万円）の80%を占める人件費（約3億9,500万円）は、採用町負担に見直しをすべきでは。

答 町長 募集にあたり、本町出身者の応募が乏しい現状にあり、本町枠で和泊町出身者を採用しなければならぬ状況です。尚、採用時に本町に居住する条件になっている。

消防職員数

	和泊町	知名町	与論町
規定職員数	14名	14名	13名
令和2年4月現在の職員数	18名	10名	13名
規定の職員数との差	+4名	-4名	0
令和3年度採用内定者数	1名	0	0
	知名町採用枠		

問 沖永良部衛生管理組合への負担金は、クリーンセンターへのゴミ搬出量に応じて算出する方法に見直しをすべきでは。

答 町長 現在、燃えるごみの搬入割合は、知名町47%、和泊町53%であり、令和元年度の負担金で換算すると、両町負担金額1億720万円の3%分の510万円多く負担していることになるので、両町で協議していきます。

問 ゴミ減量化によるクリーンセンターのゴミ焼却施設の延命化及び、脱炭素社会の実現に向けた取り組みをすべきでは。

答 町長 「知名町気候非常事態宣言」の中で、2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指す上で、ゴミ減量化は避けて通れない重要課題であり、分別の徹底と資源化、さらには、生ゴミの堆肥化に向けて、町民にご理解とご協力を得ながらゴミの減量化に取り組めます。

クリーンセンターへのゴミ搬出量

		R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
和泊町	(t)	2,143	2,174	2,030	2,015	2,022
	(%)	53.6	53.2	52.8	52.6	53.7
知名町	(t)	1,855	1,914	1,817	1,189	1,743
	(%)	46.4	46.8	47.2	47.4	46.3
和泊町との差		(t)	-288	-260	-196	-279
		H26年度	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度
和泊町	(t)	2,005	2,095	2,128	2,023	1,949
	(%)	53.5	53.6	54.0	52.4	49.9
知名町	(t)	1,746	1,814	1,816	1,835	1,957
	(%)	46.5	46.4	46.0	47.6	50.1
和泊町との差		(t)	-259	-281	-312	-188
						+8

問 現在、火葬場の2号炉（事業費1億356万円）の改築工事が実施されています。改築工事に合わせ、竿津方面から火葬場入口への道路の急カーブ補正はできないか。



竿津から火葬場への急カーブ

答 町長 今回の改築工事において、急カーブ補正は予定していないが、実施可否については、今後両町で協議が必要になる。

問 現存する「知名町誌」は、昭和57年3月25日で町の記録が終わっている。元号は昭和から平成、令和へと移り変わる、昭和57年4月以降、38年間の町の記録が途切れているので、早期に町誌の編纂に取り掛かるべきでは。

答 教育長 町誌の編纂作業は、約10年の年月が掛かるようです。今年度は、目標発刊年度の設定、発刊方法等の方向性を決定して進めていきます。

令和2年第4回臨時会及び第4回定例会のあらまし

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって一般質問が行われました。

3ページからの掲載の内容は、各質問者が執筆した主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。
(質問順に掲載)

第4回臨時会は11月26日に開かれ、人事院勧告に基づき、町長ら特別職と議員、職員の給与に関する条例改正2件を原案可決した。

第4回定例会は12月9日から11日までの日程で開かれ、町政全般に対する一般質問に10名の議員が登壇し、道路行政、障がい者支援、農業振興、新型コロナ対策、教育行政等について活発な議論が交わされました。

議案審議では令和2年度知名町一般会計補正予算(第6号)54,281,000円追加、総額7,250,958,000円、並びに5特別会計の補正予算を原案可決しました。また、知名町国民健康保険税条例の一部改正など単独議案5件を原案可決し、知名C団地C棟新築工事、知名正名海岸線改良工事の工事請負変更契約2件を可決、鹿児島県商工会連合会・知名町商工会から陳情のあった「特産品の販路開拓支援事業に関する令和3年度補助金(当初)の要望について」を採択しました。

令和2年第4回知名町議会臨時会議決結果

議案番号	付 議 件 名	議決結果
議案第75号	知名町職員の給与に関する条例及び知名町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第76号	知名町長等の給与等に関する条例及び知名町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決

令和2年第4回知名町議会定例会議決結果

議案番号	付 議 件 名	議決結果
議案第77号	令和2年度知名町一般会計補正予算(第6号)について	原案可決
議案第78号	令和2年度知名町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第79号	令和2年度知名町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第80号	令和2年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第81号	令和2年度知名町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第82号	令和2年度知名町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第83号	知名町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第84号	知名辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第85号	知名町過疎地域自立促進市町村計画の変更について	原案可決
議案第86号	知名町立認定こども園条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第87号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合理約の変更について	可 決
議案第88号	沖泊漁港管理条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第89号	工事請負変更契約の締結について(知名C団地C棟新築工事)	可 決
議案第90号	工事請負変更契約の締結について(令和2年度知名正名海岸線改良工事1工区)	可 決
陳情第7号	特産品の販路開拓支援事業に関する令和3年度補助金(当初)の要望について	採 択
発議第4号	議員派遣の件について	決 定
決定第7号	閉会中の継続審査の件について	決 定
決定第8号	閉会中の継続調査の件について	決 定

10月

9月

25日・第3回知名町議会定例会
2日目

28日・第3回知名町議会定例会
3日目

29日・第3回知名町議会定例会
閉会

2日・下平川小学校屋内運動場
安全祈願祭

6日・関係省庁・県選出国會議員
表敬、陳情（東京都）

12日・備品監査打合せ

14日・区長会との意見交換会

20日・常任委員長研修会

23日・備品監査

27日・議会だより発行（No.158）

29日・事務局長及び職員研修会

30日・県産材の利用推進に関する
要望活動

高収益作物次期作支援交付
金受益者説明会

衛生管理組合議員 視察研
修会

議会勉強会（耕地課事業に
ついて）



11月

1日・第30回知名町生涯学習フェス
ティバル

2日・学校訪問、給食センター視察
体験給食

5日・国保運営協議会会長及び国保
主管課長合同研修会

10日・国保トップセミナー

10日・議会広報研修会

例月監査

糖業振興会役員会

13日・平和の塔献花祭

護国神社慰霊祭

14日・高校魅力化事業 講演会

18日・令和2年度 各種会議

各種会議 意見交換会

22日・第3回知名町産業フェア

26日・第4回知名町議会臨時議会

議会勉強会（子育て支援課事
業について）

南日本新聞 議長取材

1日・令和2／3年期搬入出発式

2日・議会運営委員会

令和2年度奄美大島法人会知
名支部報告会

5日・知名町消防団忘年会

9日・第4回知名町議会定例会 開
会

12月



議会勉強会（子育て支援課）



農業集楽排水田皆浄化センター（耕地課）

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
よき新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

去年は新型コロナウイルスの影響下の元、す
べてにかかわる行事という行事が、中止、または延期、規模を縮小されましたが、町民の皆様
が変わらずのご健康であることを有難く思っ
ております。

今年の干支は『辛丑（かのとうし）』です。
辛は辛い、つらいといった身体的な苦痛の感
を表し、丑は発芽前の曲がった種子の堅い殻を

破ろうとしている状態で、今にもはちきれそ
うな生命エネルギーが充満した命の息吹を表し
ています。つまり辛いことが多くだけ大きな希望
が芽生える年になることを指し示しているそ
うです。干支は未来に起きる出来事を知るために
生み出された暦のシステムであり、その先代の
知恵に乗って、このコロナウイルスの痛みと、
大きな希望を胸に新しい幕開けに期待してい
きたいと思います！皆様の健康とご多幸をお祈り
いたします！

議会広報副委員長 福川 勝久